

令和五年十一月十五日 聖日記念祭

神 示

神は 神魂の運命をもつて 万人・万物の運命実体を操る
直々の使者供丸姫の救世愛を受けて

今日「希望の光」が社会に示されている

信者は 神との正しい関わりを知って

今日こそ 神示「真理」に生きる時代

使者が社会に示す「教え」を通して 今日も神魂は

救世愛を 信者 社会の人々に注いでいる

この真実を 神示「真理」を通し 悟れた信者は

神魂の愛の中 運命実体を守られる

信者に申す

人生の目的とは何か

悟れた信者は 「希望の光」を通す価値に気付く

「希望の光」を社会に示された 直使の救世愛を深く感じ取り

奉仕の心を身に付け 「正道」を歩む意味が深くつかめる

「希望の光」を信者は日々歩み

「実体」を高めて 「運命」に重なる人生をゆく

直使が 全人生を懸けて

人類に開いた 開運の手だてが ここにある

—— 社会に奉仕し 生きがいを味わい 有限の人生を歩み抜く ——

「人生の真実」 開運の真理を知って

信者は 直使の救世愛を支えに 今日を生きるべし